

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホエール学園キッズハウス		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ホエール学園において児童発達支援・放課後等デイサービスご利用中のお子さまの多くが保育所等訪問支援も利用しており、関係各所との情報共有・連携を円滑におこなうことができます。各支援場面で得られたお子さまの様子や特性を共有し、より良い支援に繋がるよう努めてまいります。	訪問時にホエール学園での様子をわかりやすく伝えられるように、動画や資料をおもちしています。また訪問後も定期的に訪問先と連絡をとり連携を強化しています。	各施設との定期的な連絡を継続的に行っています。また情報共有の頻度については、お子さまの支援状況に応じて柔軟に対応していきます。こうした取り組みの積み重ねにより関係機関が常に協力しあえる体制を築ければ、より一層、質の高い支援につなげていけると考えております。
2	地域に根ざした支援を大切に、幼稚園・保育園・学校・ご家庭と連携してお子さまの成長を見守ってまいります。相談支援事業所の相談支援専門員ができる限り同行し、現場で情報共有を行うことで関係機関との連携を強化しています。	訪問時のお子さまの様子を保護者様へ直接お伝えし、相談支援専門員による継続的なサポート体制を整えています。保護者様が安心して相談できるよう、支援内容や経過をわかりやすく共有することを心がけています。	より丁寧な家庭支援ができるよう、相談支援専門員との協働を強化し、関係各所との連携をスムーズに進めていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今現在、学校や幼稚園及び保育園への訪問件数が増えてきたことにより、日程やお時間を調整させていただくことが多くなってきております。	訪問回数や頻度を確保するため、今後は訪問支援員の増員が必要だと考えております。	訪問先と早めのスケジュール調整を行うことで、訪問回数についても柔軟に対応していきたいと考えております。
2			
3			